

この学校関係者評価報告書は、専門学校麻生看護大学校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

学校関係者評価 報告書

専門学校 麻生看護大学校

平成30年 7月31日

校 長 安 藤 廣 美

自己点検・評価責任者

校長代行 光 武 和 寿

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 2 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 2 -
5. 学校関係者評価方法	- 2 -
II. 学校関係者評価内容	- 3 -
基準 1 理念・目的	- 3 -
基準 2 教育の内容	- 4 -
基準 3 教育の実施体制	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度	- 8 -
基準 5 学生支援	- 9 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7 社会的活動	- 12 -
基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）	- 12 -
基準 10 改革・改善・情報提供	- 14 -

※基準9は評価対象外

平成29年度
(2017年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ① 業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、専門学校 麻生看護大学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属
業界関係者	梅崎 淳子	日本赤十字社 嘉麻赤十字病院 看護部長
高校	大塚 春生	福岡県立 嘉穂高等学校 校長
地域住民	野見山 昌光	飯塚市内居住 民生委員
卒業生	井原 資子	社会保険 田川病院 看護部長
保護者	山下 智雅	看護科学生保護者 感染管理認定看護師

※区分別、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成30年 7月18日(水) 14:00 ～ 15:00

場 所：麻生看護大学校 本館 講堂

5. 学校関係者評価方法

平成29年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

S：達成度がきわめて高い

A：ほぼ達成している

B：達成がやや不十分であり、若干改善を要する（要観察：放置すると不適合になる）

C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

2017年度より、評価基準をより具体的なものにするとともに、内容をより掘り下げたものに改訂した。

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

基準1 総括

教育理念・目的・目標等については、学生要覧等・パンフレット・Web サイト等で広く公表することで透明性を遵守しています。加えて、ドラスティックに変化する社会情勢・医療情勢を鑑み、具体的な教育内容・方法については、常に精査を図ることで社会が求める看護実践能力の向上に向けた教育を遂行し、また、その方針や取り組みを社会に公表している。

見つかった課題

教育理念・教育方針に沿う教育は実施できていると考える。しかし、外部講師については、教育理念を踏まえた講義の展開について、引き続き課題を残す。

改善策又は改善の方向性

講師会議や日々のコミュニケーションを通して、学校の方針を知っていただき、浸透させていく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特記に無し

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

概ね基準1については、到達できているが、外部講師への周知・理解、学生への理解・周知の客観的評価が課題である。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

入職、入学時には、「建学の精神」、「法人の理念」を説明を行っているが、非常勤講師への週に関しては課題がのこる。

小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育理念は、明文化でき誰もが閲覧可能な状態である。学生の理解の確認が出来るよう評価が必要である。

小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

Web やパンフレット、学生要覧に記載し公表している。教育理念との教育内容、指導方針等に関しては、カリキュラム検討会で定期的実施している。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学生要覧に記載し明記している。教育目的の「社会に公表」に関しては、学生要覧を閲覧する以外に無いため、web 掲載等検討したい。

小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

項目に上げる「カリキュラムの文書化」「社会に公表」について、web や学生要覧に掲載し、学生にも入学事前、入学後に説明している。「学生は、内容を理解しているか」については、口頭説明の際に表情等を確認し、理解しているものと判断している。今後は、客観的に理解の確認が出来るよう取り組みたい。

基準 2 教育の内容

基準 2 総括

教育目的・教育目標や人材育成像は「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」、「医療や看護実践の現状及び社会のニーズ」「各業界からのアンケート情報等による人材ニーズを把握」を踏まえた上で、学科の教育期間で到達可能なレベルを設定している。また、カリキュラム運営については、年間計画・進捗表に基づき運営し、カリキュラム検討会を随時行い、PDCA サイクルで運営している。

ここでは、教育内容の詳細は、専門分野に精通する有力者の助言や専門誌などから考え方を得て、且つ企業側(関連病院)教育委員会や臨床指導者委員会等の示唆を得て作成し編成している。また看護科では「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」の教育時間のほかに、教育外活動を3年間で183時間/設定し、教育目標到達や人材育成に努めている。

カリキュラムは、体系的に編成しており、各科目間のつながりも適正である。科目ごとのシラバスも作成されており講義前に学生に配布し(看護科通信課程は1年間の学習内容であるシラバスは冊子として配布ガイダンスしている)、到達目標・評価・参考資料等の説明も行っている。今後、数年後にカリキュラム改正が予測されているため、年間を通してカリキュラム検討会にて、準備を進めている。キャリア教育・キャリア発達を行う中で、実際に進学を目指す学生や卒業後、認定資格を取得する者も存在する。

見つかった課題

カリキュラム上の課題の詳細について、臨床実践能力向上を図るためには、臨地実習の指導方法や評価内容に関して改善が必要である。

改善策又は改善の方向性

キャリア教育の定義化等に関しては、実践を文書化し正確な共通認識が出来るように努め、また、学生が将来像を描くことができるような機会を設定していく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適正

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

教育目的、育成人材増に似即してカリキュラム作成に取り組んでいる。

小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

「教育課程編成・実施の方針」については、医政局に提出し承認を頂いた上でカリキュラム運営を行っている。教育評価については、卒業判定会議、卒業年度末の最終担任報告で評価を行うことを基本的事項としている。

小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

医政局に承認を得てカリキュラムを運用している。日々、評価を行いながら今後のカリキュラム改正に向けて検討中。

小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

シラバスは、事前に学生に配布しているが外部講師のシラバス内容に関しては、詳細内容の修正が必要。

小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者をに入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

年1回外部関係者を含めた会議を実施している。「会議」の方法、意見集約方法について、状況に応じて改善を進める。

小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

カリキュラム学習会で定期的に教育内容の互換性を検討している。「シラバスおよびコマシラバス」は、検討時の参考資料として活用している。

中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 正

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

概ね項目2-2については、到達できている。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

参加型学習を推進し専任教員は、積極的に取り入れ日々適切な講義方法を検討している。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

専任教員は、全員コマシラバスを提示し講義展開も行っている。外部講師の殆どが、大シラバスのみであるため、各講師毎のコマシラバスの必要性から検討したい。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

科目ごとに評価試験を実施し学習の理解の確認を行っている。「評価方法」を評価し必要に応じて改善を行う。

中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適 正

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

概ね到達できているが、外部講師への取り組みが必要。

小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

専任教員は、「S」に該当する状況である。しかし、外部講師の評価は、不足しているため今後、授業評価について進めて行きたい。

小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取り組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果：S

■コメント

教務主任がカリキュラム全体を把握し、教員個々の授業指導に当たっている。必要に応じて、各担当教員から講義の評価報告も受けている。教材作成時は、全教員で検討に当たっている。

小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

専門分野や担当分野に関する研修参加を行っている。費用については、上限を決め学べる環境を整えている。

中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果：適 正

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

概ね到達できているが、キャリア教育内容の明確化に改善を必要とする。

小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

カリキュラムに「職場実習」が組み込まれており、「職場実習」は、実施すべき内容である。

小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

多くの卒業生がキャリアアップできている現状から結果的には、「S」とも評価できる。今後は、「キャリア教育」の教育内容の明確化において改善を必要とする。

小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

導入前教育を実施中。また、事前教育を学内学習指導にも継続させている。今後も評価・実施を繰返していく。

基準 3 教育の実施体制

基準 3 総括

教育環境においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」および、自己点検・評価基準に基づき環境整備を行なっており概ね問題ない。

学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を行い、且つ学校生活における行事や臨地実習先での事故・寮生活における災害に対しては学校保険に加入し、万全の体制で臨んでいる。また、流行性感染症については、感染管理認定管理者の助言の下、予防策を適切に進め、臨地実習における患者の血液・体液暴露時の対応についても、実習施設のマニュアルに即した対応が可能であり、安全な環境、学習教育的な環境は備えている。学生主体(自治会手動)で物品点検の実施を継続している。2016年度、物品点検と学内大掃除を行うことで、時間と作業量から不十分な物品点検となっていた。しかし、物品点検の時期および、方法の改善により、滞りなく実施できた。

見つかった課題

学生が学習に活用する備品や教育効果を上げるための教材の整備が課題である。

改善策又は改善の方向性

学内の教材(PC, コピー用紙等)、共有備品の適切な取り扱いについても共通認識し安全且つ、利用しやすいようさらに整備を継続していく。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・図書室利用に関して夏期・春期休暇中の使用不可の理由が、学生に十分に伝わっていないように感じている。

中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■学校関係者評価結果: 適正

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」を遵守している。

小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき必要な人員を確保している。昨年度、人員不足であったが、30年度は、必要な人員確保は出来ている。

小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき環境設備を行っている。

中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果：適 正■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

教育環境においては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき環境設備を行っている。中でも図書環境は両科の図書担当教員・学生図書委員により年次計画のもと、学生の書籍数・内容につきましては、学習環境の整備に万全を期している。

小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき、専任教員を適切に配置している。

小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学生が学習日誌を書き、それを専任教員が非常勤講師との口頭での確認を行い情報交換を図っている。

中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適 正■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

概ね項目3-3については、到達できている。教育環境整備に努めている。日々の実施事項の評価を行い「あるべき状態」へと改善に努める。学生が学習に活用する備品や教育効果を上げるための教材の整備の検討を継続する。

小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学内の整理・整頓・清掃に関するルール等を文書化し教室などに掲示している。学内の整理・整頓に関して担当を決め、定期的に管理、チェックしている。学生が学習に活用する備品や教育効果を上げるための教材の整備の検討を継続する。

小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたいと実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学内外実習時に望む際は、必ず学生からの誓約書提出を持って参加に至っている。実習前には、感染症に対する抗体化を確認し、ワクチン接種を確認している。学校賠償責任保険、学生・生徒災害傷害保険にも加入することで、学内外(通学・実習含む)での安全を担保している。実習病院は、教員および、学生が患者の体液暴露や針刺し事故が発生した際の対応ガイドラインが設定されている。

小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。1回/年に教職員および、在校生が参加して防災訓練を実施している。

小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

キャリアサポート関連の有資格者は、必要な場合に本部から招いている。しかし、看護科卒業生のほとんどが、関連病院へ就職する。通信課程では、職場推薦による入学のため、就職自体を想定していない。

小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント:「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づき、冊数、分野ごとの整備を行っている。学生が利用できる環境は整えている。10年以上経過した本を削除し、新図書購入を勧めている。

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

全ての取り組みに対して目標設定し、実施評価のプロセス(PDCA サイクル)を展開している。評価・成績・資格・出席状況・退学に関しては、会議で実施内容・結果・分析・方針等の報告をタイムリーに行い、専任教員間で共有している。また、担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し、記録すると共に教務会議などでも教職員で共有が行えている。

学生の育成には、急性期医療における看護実践能力向上をめざした育成を行っている。カリキュラムの1/3を占める臨地実習は、高度な急性期医療を行う病院(関連病院)で行うと共に、本校と病院が連携して、学生の指導を行っている。卒業後の進路は、ほぼ全員が「関連病院」に入職しており、めざす人材育成が行えている。入職後も「関連病院」と連携し新人看護師教育に関わっている。28年度、少数の学生が就職活動および、進学受験を活動行っているが、その事実を証明する資料が残されていないことが確認できた。この課題を受け、29 年度は、学生よる活動の報告を指示し、その記録物を保存する仕組みづくりをおこなった。

見つかった課題

本校のデュプロマ・ポリシーの文書化もあり方針を定めていることが評価できるが、内部のもののみが閲覧できる状態のため、社会への情報公開という面では課題が残る。

改善策又は改善の方向性

交流会や同窓会など卒業生との対面時に情報収集し、教務会議やカリキュラム会議で検証し、カリキュラム評価に活かしていく。デュプロマ・ポリシーについての情報公開を進めていく。

■学校関係者評価結果:適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

特に無し

中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■学校関係者評価結果:適 正

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

概ね項目4-1については、到達できている。「デュプロマ・ポリシーの文書化」については、出来る限り改善に努める。

小項目 4-1-1

デュプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

本校のデュプロマ・ポリシーの文書化もあり方針を定めていることが評価できるが、内部のもののみが閲覧できる状態のため、社会への情報公開という面では課題が残る。

小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

個人ごとの月例報告が教務会議で行われ、その都度目標及び指導方針・方法を明確にし、全教員が共通認識を行ったうえで指導に当たっている。

小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント 看護師国家試験のみの資格である。合格率は、例年検証・公表している。

小項目 4-1-4

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント 看護師国家試験のみの資格である。合格率は、例年検証・公表している。

小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果: A

■コメント

看護科卒業生のほとんどが、関連病院へ就職するため殆ど就職活動記録はない。昨年度から、関連外病院へ就職する

学生の就職活動記録を残すようにした。通信課程では、新たな職場への転職希望者に関しては、学生記録をもとに就職援助を行っている。

小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科・各クラスとして目標を設定している。卒業率向上の意義を教職員が理解し共有している。

目標設定に基づいて効果的な指導だったか検証・報告も行っている。退学者数は、パンフレットに掲載し公表している。

今後は、web 等で出来る限りの情報公開を進めたい。

基準 5 学生支援

基準 5 総括

学生面接、保護者への説明会、就職に関する支援、奨学金等幅広く学生の支援体制を整えている。左記に挙げた内容に関しても計画的に行われ、その記録も残されている。課外活動に対しても外部からの指導者を招き、積極的な活動が行われている。事実、茶道部では、28 年度部員が「第 38 回学校茶道部エッセイ」に投稿し、「学生の部」で表彰されたことや、書道部では、長期休暇中にも学内にて外部指導者と共に練習を行っている。寮に関する支援では、費用も安価であり学生の希望状況からも、学生寮の支援体制が質・量ともに整っていると評価できる。平成 29 年度は、「保護者会について『会』の発足について随時判断していく」としていたが、1 回／年の各学年保護者説明会や学校評価委員会でも要望はなかった。28 年評価では、課外活動支援規程に即した活動報告をおこなった。寮について：学生要覧の寮規程内容の明記に不足があった。また、学校関係者評価委員会において、保護者から「長期休暇中の一時退寮についての明記がどこにも見当たらない。入学後に知ることになる恐れがあり、県外の学生は、困惑する可能性がある」「食事が肉類が多く野菜類が多いと子どもが言っていた」「wi-Fi 環境の予定の有無について」の意見を頂いた。長期一時退寮について、30 年度学生要覧から、長期休暇中の一時退寮について明記した。入学事前説明会では、一時退寮について文書化にて説明を行った。食事については、全入寮生へアンケート調査を行い、調理師、管理人と共に寮生のニーズに答え且つ、栄養バランスを考え、2 週間に 1 回の献立を検討している。wi-Fi 環境は、完備されているため、物理的な状況が整えば、寮生は利用可能な状況である。

見つかった課題

寮の長期休暇中の一時退寮に関して、入学しなければ情報を適切に知る機会が不足している。

改善策又は改善の方向性

今後、パンフレット、ホームページに一時退寮について掲載し積極的な情報公開を行っていく。

1 回／年の各学年保護者説明会を続け、「会」発足等については、引き続き随時判断していく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・学生要覧の改訂について、学生との話し合いで決まっているのか。改訂部分が明確でないため、何が改訂されたのか分かるようにするとよい。

中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適正

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

概ね項目5-1については、到達できている。寮および、クラブ活動については、出来る限りの改善に努める。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

グループ面接、個人面接を定期的実施し且つ、成績や態度に応じて面接を臨時に実施している。長年退学者0%は、十分な支援が行えている結果であると評価している。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学年1回／年の説明会(教育方針、前学年評価、学習指導結果等)を実施している。不在の保護者へは、「会」の資料を郵送している。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

キャリアサポート関連の有資格者は、必要な場合に本部から招いている。しかし、看護科卒業生のほとんどが、関連病院へ就職する。通信課程では、職場推薦による入学のため、就職自体を想定していない。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

臨床心理士による相談室設置あり、学校カウンセリングとして機能している。学生の相談内容によっては、カウンセラーが教員へ報告し学生の安全を守る状況にある。年1回評価報告を受けている。

小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメントに関する報告はない。臨床心理士による相談室設置あり、学校カウンセリングとして機能している。ハラスメントに関する規程が文書化され、相談窓口も明確化しており、教職員は全員内容を周知している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

看護科は、奨学金を貸与できる環境を整え、入学前・後に説明を行い殆どの学生が同奨学金を利用している。

通信課程では、教育訓練給付金制度導入により多くの学生が利用している。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

社会人学生の受験は可能である、入学の事実がある。。留学生または、障がい者の受け入れは、入学及び、編入の申し入れがない。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

課外活動に対する評価が必要である。クラブ活動として積極的活動：2件／8件、定期的活動：2件／8件 行事前の活動のみ：4件／8件。「行事前の活動のみ」クラブ活動については、同クラブの「あり方」から見直しを行いたい。課外活動の規程については、誰もが閲覧できる状況でないため、学生要覧等の記載を進めていく。

小項目 5-1-ANC

直営の学生寮等、学生の生活支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「基準5総括」の中部から下部参照

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適正

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

「卒業生等に対する支援」は、ほぼ達成できていると判断できる。

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、〇年後(任意)の在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生が就職する病院(関連病院)から新入職員の動向については、定期的に情報入手とともに情報交換が出来る。また、経年的に卒業生の活躍が確認できる環境にある。関連病院以外に就業先を探した卒業生(年数名)の把握については、卒後懇親会を開き同場所にて確認を行っている。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

看護科の卒業生の殆どが関連病院へ就職する。本来、看護科と同関連病院は、臨床指導者育成の観点から年4回の学習会を協同で実施している。経年的な動向については、同窓会名簿で毎年8月に確認が出来ている。

基準 6 学生募集・受け入れ

基準 6 総括

学生募集活動は、募集用件を文章化且つ、Web サイトおよび、パンフレット等で公表の継続を行っている。年間を通して、県外も含め積極的に学校訪問を行い、高校生の進路ニーズの把握に努めている。高校生のニーズは、現在の若者の傾向として、在学生の教育に活かしている。学費について、県内の看護専門学校では、安価であり保護者もからも実際の評価を受け

ている。入試選考基準についても、内規基準を文章化し、基準の評価を行っている。選考結果については、受験者本人、受験校校長へ文書にて連絡且つ、高校へは直接選考結果を説明することを引き続き行っている。29年度の課題として、アドミッションポリシーの明確な掲示不足があったが、30年度の募集要項に明記し、課題の改善を行った。

見つかった課題

対象のニーズは変化する。動向を踏まえ、対象が求める情報が何か、常に検討し公開していくことが必要と考える。

改善策又は改善の方向性

アドミッションポリシーの掲示について、既に平成 30 年度分のパンフレット・募集要項等は、校正・印刷が終了している。今後もパンフレット・募集要項等に分かり易く掲示を行う。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・特になし。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適 正

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

中項目 6-1は、概ね達成している。アドミッションポリシーの掲示については、次年度の課題とする。

小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

アドミッションポリシーの掲示について、既に平成 30 年度分のパンフレット・募集要項等は、校正・印刷が終了している。今後もパンフレット・募集要項等に分かり易く掲示を行う。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

広報担当者および、ガイダンス実施者が学生のニーズの情報収集に努めている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

「就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍」は、本校の核となる内容であり、事実を伝えている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

看護学校は、看護師育成の学校であり目指す国家試験も看護師免許と明確である。「修得できる知識及び技術等」は、カリキュラムの一部をパンフレットに明記し閲覧者が分かりやすいように努めている。

小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学生要覧、パンフレットなどに記載している。全教職員は、学費・教材等に関する内容を説明することができる。金額の妥当性についても、近隣の学校との確認を行い設定している。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

募集要項等には入学者の選抜方法を明示までに留まっている。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」を遵守した学科ごとの入学定員に対する入学者数比率および収容定員に対する在籍学生数比率は適切である。

基準 7 社会的活動

基準 7 総括

実習指導者講習会・専任教員研修会・准看護師交流会へ講師として派遣する行政との連携は、継続して行なっている。また看護学校協議会理事会との連携のもと、各ブロック活動も定例化し教育の質向上にも貢献を続けている。学生のボランティア活動は、関連施設および地域との連携のもと、毎年各学年へ引き継がれるという常設ボランティア活動が根付いている。28年度評価では、ボランティア活動参加記録が明確に分かる記録物について、一部不足している点があった。29年度は、学生が参加したボランティア内容が分かる様な資料を保存することの改善をおこなった。看護科では、学校祭で地域の方を対象に公開講演を行い、看護科通信課程では、実習施設への公開講義を続けている。

見つかった課題

さらに、積極的に地域貢献や社会活動を目的とした公開講座の実施が課題である。

改善策又は改善の方向性

地域に根差した活動として、公開講座など計画実施していく。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・日頃から通学路の清掃として、草取りなどのボランティアとしての取り組みの工夫も良いのではないか。
- ・学校祭の案内が地域のどのレベルまで渡っているのかが不確定である。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果: 適正

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

専門学校協議会、日本看護協会等に加盟し積極的に取り組みを推進できる組織体制である。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

基準 7 総括内容参照

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

看護科は、学校祭で講師を招き公開講座を行っている。通信課程では、実習病院の指導者に講義の一部を公開講座としている。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

看護協会からの依頼を受け、研修生の受け入れや出張講義・指導を行っている。

基準 8 管理運営・財務(学校・グループ)

基準 8 総括

学校運営に関しては、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づいた運営であり、県指導調査における指導事項においても迅速且つ正当な対処を遵守しており、極めて健全なる運営であると判断する。

平成25年度から引き続き人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めている。又、教員の自己研鑽意識も高い。一般社団法人日本看護学校協議会から出された、「自然災害等不測の事態への対処についてのガイドライン」に基づき、規程を作成し運営している。

学校の財務運営についても、毎年年度予算を適正に執行し、予算管理運営を行っている。本校の図書、物品、教材等について、これまで本校単独で全ての管理をおこなっていたが、29年度、本部の資産台帳と合致させて「共通の資産コード」として整理をおこなった。

改善策又は改善の方向性

規程厳守、周知の漏れが無いように教職員一同が理解し進める。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適正

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づいた運営を継続している。

小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

「教務会議」は、学則に準じ実行している。また、各役割間での会議も行い組織的運営に努めている。

小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

組織図やルールブックを下に教職員に周知し実行している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

防火管理者の指導の下年に 1 回の、学生を含めた火災訓練を実施している。学生には、近隣のハザードマップを提示して、組織的に対応している。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

個人情報保護について、入職時に説明を実施している。学生の個人情報書類の施錠場所保管し、個人情報のデジタルデータ移動についてもパスワードの設定を行うなどの工夫を行っている。

小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

ハラスメント相談窓口は、メールで誰もが相談でき組織的運用を行っている。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

年1回の教職員合同の研修会を実施し、経年的に続けている。また、塾グループ主催の研修会も積極的に参加を継続中。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適正

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

学校運営に関して県指導調査における指導事項においても迅速且つ正当な対処を遵守しており、極めて健全なる運営を続けている。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

年度予算および、中期予算計画書を作成し、計画的に管理運営を行っている。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

毎月および、半期毎に計画書に基づき確認を行っている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

2017 年度、経理グループが管理する塾資産台帳管理帳との互換性を持たせるため、資産番号シールを各物品に添付し台帳、実質共に管理を行っている。

小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。(該当校)

■自己点検・評価結果: A

■コメント

2017 年度、経理グループが管理する塾資産台帳管理帳との互換性を持たせ組織的に管理している。

基準 10 改革・改善・情報提供

基準 10 総括

塾の自己点検・評価委員会の計画に準じて改善活動を進めている。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ等で共有する機会を設けている。

見つかった課題

現在は、各部署管理者が中心となり進めているため、管理者以下の教職員へ「自己点検・自己評価」項目を意識した取り組みが課題である。

改善策又は改善の方向性

教職員への自己点検・自己評価項目を知らせ意識化させ、全体の意見から自己点検・自己評価実施が行えるよう努める。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果: 適正

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

自己点検・評価活動は、システム的に稼働しているが、全教職員による協同した改革・改善活動について改善の必要がある。

小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

全体での活動という点で、改善の必要がある。

小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

フォローアップ表を別に作成し、同表に基づいて計画的に改善を実施している。

小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

全ての「小項目」にコメントを加え、出来る限り内容が公開できるように工夫を行っている。学校関係者評価委員会では、口頭での説明を行いわかりやすい情報公開に努めている。

中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■学校関係者評価結果: 適正

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

出来る限りの情報公開を心がけているが、出来る限りの内容の公開を推進していきたい。

小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

私学振興課、文部科学省、全国専門学校協議会、福岡県専門学校協議会等申し出に応じて情報提供を行っている。

小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

小項目 10-2-6と同様及び、「看護師等養成所の運営に関するガイドライン」に基づいた情報公開を行っている。

小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

パンフレットおよび、ホームページでは、出来る限り分かりやすい情報公開を心がけている。